

法人の場合

記載例

※第1号様式（申請書兼請求書）

該当する薄青色部分が記入項目です。

第1号様式

① 令和 3 年 5 月 12 日

三重県時短要請協力金（令和3年4月26日～令和3年5月11日）
支給申請書兼請求書

三重県知事 あて

次のとおり三重県時短要請協力金(令和3年4月26日～5月11日)の支給を受けたいので、関係書類を添えて申請します。本協力金の支給決定後は、下記の口座に口座振替の方法をもって振り込んでください。

申請者

※「法人」にチェックを入れてください。

申請者情報 (いずれかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 法人	フリガナ	カブシキガイシャ ミエケンチョウ												
		法人名 ②	株式会社 三重県庁												
		フリガナ ③	ミエ タロウ												
		申請における代表者役職・氏名	代表取締役 三重 太郎												
		本店所在地 ④	〒000-0000 三重県津市●●町●●丁目●●番地												
		法人番号 ⑤	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	0	0	0
		担当者 ※1	総務担当 三重 次郎								資本金 ⑦	1000万円			
	連絡先 ※2 ⑥	電話番号	059-123-4567				従業員	20人							
		メールアドレス	mie@pref.mie.lg.jp												
<input type="checkbox"/> 個人事業主		フリガナ													
		氏名													
		自宅住所 ※3	〒												
		連絡先 ※2	電話番号												
		メールアドレス	@												

※1) 本申請に関して問い合わせ対応ができる方を記載してください。

※2) 日中、確実に連絡が通じる電話番号を記載してください。

※3) 本人確認書類と同じ申請者本人の住所を記載してください。

2 郵便物の送付先

※申請書類に不備がある場合は補正通知を送付しますので、郵便物の受取りが可能な住所・あて名を記載してください（上記と異なる場合のみ）

⑧

住所	〒
あて名	

⑧郵便物の送付先

申請者情報に記入した内容と異なる場合のみ記入してください。（店舗住所に送付する場合等。）

⑦資本金と従業員

資本金額と法人全体の従業員数を記入してください。従業員数は、役員と短時間労働者（パート、アルバイト等）を除いた人数としてください。

①日付

作成した日を記入してください。

②法人名

申請する法人の法人名とフリガナを記入してください。

③役職・氏名

代表者の役職、氏名、フリガナを記入してください。本人確認書類と同一人となります。

④本店所在地

申請する法人の登記上の本店所在地を記入してください。

⑤法人番号

13桁の法人番号を記入してください。

⑥担当者と連絡先

協力金の申請について、対応のできる方の氏名と連絡先を記入してください。連絡先は携帯番号でも構いませんが、日中、確実に連絡の取れる番号にしてください。

3 振込先口座

金融機関の場合	金融機関名 ⑨	○○	銀行・信用金庫 信用組合・農協	金融機関 コード	1	2	3	4
	本・支店名	○○	本店・支店 出張所	支店 コード	1	2	3	
	種別 ⑪	普通・当座	口座番号 ⑫	1	2	3	4	5
	口座名義人 (フリガナ) ⑬	カブシキガイシャミエケンチョウ						

⑨金融機関名と本・支店名
振込先の金融機関名と本・支店名を記入し、該当する部分に丸を付けてください。

⑩金融機関コードと支店コード
通帳に記載されている金融機関コードと支店コードを記入してください。

⑪種別
普通か当座のどちらかに丸を付けてください。

⑫口座番号
口座番号を正しく記入してください。

⑬口座名義人
口座名義人を正しく記入してください。申請する法人名義の口座に限ります。

⑭

ゆうちょ銀行の場合	通帳記号								種別
	通帳番号 (右詰め)								普通・当座
	口座名義人 (フリガナ)								

※振込先の口座は申請者本人の名義の口座に限ります。また、法人の場合は当該法人の口座に限ります。
※振込先口座の情報がわかる通帳等の写しが必要です。

4 協力金支給店舗数（対象地域内の対象店舗数）

⑮

店舗数 3 店

5 時短営業を実施した店舗の内訳 ⑯

第1号様式別紙に記載した通りです。

※第1号様式別紙を使用し、時短営業を実施した店舗につき1枚作製してください。

⑮店舗数

申請する店舗数を記入してください。対象地域内の全ての対象店舗について時短営業が必要です。この店舗数は、「第1号様式別紙」の枚数と同じ数になります。

⑭ゆうちょ銀行の場合

ゆうちょ銀行の場合、通帳に記載された通帳記号と通帳番号をそのまま記入してください。通帳番号は6桁～8桁の場合があるため、右詰めで記入してください。

⑯時短営業を実施した店舗の内訳

「第1号様式別紙」を使用してください。1店舗につき1枚作成が必要です。

6 店舗ごとの支給額

店舗ごとに【別紙：店舗ごとの協力金支給申請額及び協力内容について】を作成し、店舗名及び支給額を記入してください。

No.	店舗名	店舗ごとの支給額
17 1	三重A店	18 400,000円
2	三重B店	500,000円
3	三重C店	600,000円
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

17 店舗名

店舗名を記入してください。複数の店舗を申請する場合は店舗の数だけ記入して下さい。

18 店舗ごとの支給額

店舗ごとの支給額を記入してください。複数の店舗を申請する場合は店舗の数だけ記入して下さい。
※支給総額ではありません。

7 協力金支給申請額（総額）

6に記載した店舗ごとの支給額の合計額を記入してください。

19 1,500 千円

19 協力金支給申請額（総額）

店舗ごとの支給額を合計した金額記入してください。